

2002.1.8. 朝日

執刀医らを 遺族が告訴

東京女子医大手術ミス

東京女子医科大病院
(東京都新宿区、林直諒
院長)の心臓手術ミスで
群馬県高崎市の平柳明香
さん(当時12)が死亡し
た問題で、遺族は8日、

手術チームの医師ら5人
を業務上過失致死容疑で
警視庁に刑事告訴した。
また、虚偽の死亡診断書
を作成したとして、主治
医についても虚偽診断書

等作成容疑で告訴した。
明香さんは昨年3月、
同病院で心臓の心房中隔
にあいた穴を縫い合わせ
る手術を受けたが、3日
後に死亡した。

大学側が設置した調査
委員会の報告書による
と、手術では心臓への血
流を止めるため、体外に
人工心肺装置を取り付け

た。同装置のポンプの回
転数を上げすぎるとし
たため、10分以上脳に血
液が循環しなくなり、
脳死状態となったとい
う。

しかし、遺族による
と、手術の責任者の医師
は家族に「手術はうまく
いった」と説明。さら
に、主治医は死亡診断書

に「心房中隔欠損症」と
虚偽の死因を記載するな
どしていたという。

女子医大小児心臓手術事故

執刀医らを告訴

2002年1月8日 朝日新聞